

里地里山保全・再生の特征的取組 個票 A (対象地域の概況)

NO.132		一関本寺		生物地理区分		コナラ林(東日本)	
				地域区分		中山間地	
所在地	都道府県	岩手県		地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地
	市町村	一関市(巖美町)			4.低地	5.その他()	
	集落名称等	本寺		環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田
			4.畑		5.小川・水路	6.ため池	
					7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林
					10.その他()		

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの :それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化的景観地域「本寺の農村景観」 ・史跡「骨寺村荘園遺跡」 ・にほんの里 100 選 ・美しい日本の歴史的風土 準 100 選
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
畑：ヒメネズミ 水田：ドジョウ、メダカ、トウキョウダルマガエル、シュレーゲルアオガエル 丘陵：ニホンカモシカ、ツキノワグマ 水路：ナガエミクリ、カキツバタ	<ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレット等に写真が使用されている ・風景探勝や撮影の来訪者が多い ・景観関連調査(文化的景観など)の対象地となっている



撮影時期：平成 22 年年 5 月

写真の説明：中世以来の土地利用形態が色濃く残る、イグネ(屋敷林)に囲まれた屋敷と狂句線的な畦畔



撮影時期：平成 19 年年 1 0 月

写真の説明：毎年多くの人たちが参加する「稲刈り体験」

NO. 132		一関本寺		取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	岩手県			2.団体・企業・学校等
	市町村	一関市(巖美町)			3.行政による支援施策の活用
	集落名称	本寺			4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他	

取組主体	主な主体の名称	本寺地区地域づくり推進協議会	
	その他の主体の名称	一関市	
目的 :主 :その他	1.農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化(伝統的なものも含む)		
	対象・取組内容	【地域の農村景観を見直す取組】 一関市本寺地区は中尊寺に保存されている「陸奥国骨寺村絵図」に描かれた、中世の荘園の面影を現在まで色濃く残している地域である。そのため、地域全体が歴史的に貴重な遺跡であるとされ、研究者に注目されてきた。平成5年に地域の歴史を見直そうと地区の有志により「美しい本寺推進本部」が結成され、それ以来、地域の良さを発見する「本寺地区お宝探し事業」や地域のPR方法の検討や地域活性化のための「夢語りの会」の開催等の各種村づくり活動が行われている。現在では集落での取組として、田んぼオーナー制度を実施しており、オーナーになることで、集落で栽培した米が貰えるほか、集落での農業体験を行うことができる。	
	支援措置		
	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用		
	自然観察会		
	環境教育・学習活動	*	平成14年から地区内外の人たちと地元の風土と暮らしを理解し、特徴を発見するために地域を観察し、観察結果を発表する「本寺地区お宝探し事業」に取り組んだ。また、國學院大学の学習田があり、学生が稲作体験を行っている。
	里地里山体験・環境保全		
	農林業体験活動	*	稲刈り体験、田植え体験
	エコツアー	*	荘園めぐり
	その他		
5.地域の良好な景観の保全・修復			
取組内容	【農村景観を活かすための取組】 住民が地域の農村景観を見直し、それを資源として活かすために、「本寺地区地域づくり推進協議会」が作られた。協議会では、地域の魅力や個性を生かすために、都市と農村の交流を図る田植え体験や、稲刈り体験の実施、地元の農産品を生かした特産物の開発や、荘園オーナー制の普及等に取り組んでいる。 また、一関市では平成19年に地域の景観を守るために「本寺地区景観計画」を作成した。これは地域の代表と有識者からなる委員会や住民との意見交換会で話し合いを重ねて出来たものであり、この計画で建設行為等を規制している。このようにして守られた本寺地区には、稲作体験や地域の特産物を買いに観光客が訪れるようになった。		
連携・協働による取組内容・役割分担等	地域住民で組織される協議会は、地域おこし、地域営農、景観、女性の4つの部会が設けられている。この協議会では「骨寺通信」という会報やホームページ(http://www.honedera.jp/index.html)を作成し、情報発信にも努めている。		
取組の特徴や強調したい点	地域住民が自ら地域の資源を発見する「本寺地区お宝探し事業」等を行い、その結果として、地域のPR方法やグリーンツーリズムの推進など、住民から350件を超えるアイデアが出ている		

取組の概要	地域住民が自ら地域資源を見直すことによる、農村景観を活かした地域づくりと歴史的景観の保全	課題グループ
事例の特性	オーナー制度、農業体験、都市との交流、情報発信	農林業 景観文化
取組の中で他の地域の参考となる点	地域住民自らが地域の資源を発見・認識することで、農村景観を生かした地域づくりを実現させている。	